



持田小学校学校だより

オアシス

※学校ホームページは
こちらからどうぞ→



2025年度 第4号
令和7年7月18日
松江市立持田小学校
校長 吉田 卓矢

1学期が終了しました！今年はどれだけすてきな^{はっさう}“楽幸”になるかな？

本日、無事に1学期の終業式を迎えることができました。これも保護者や地域の皆様に支えられ、すてきな環境の中で教育活動を展開できたおかげです。本当にありがとうございました。

子ども達も1学期の活動の中で、大きく成長することができました。

そんなみんなの成長を称え、1学期の終業式では、こどもたちに次のようなことを話しました。



2年生野菜の苗植え

1学期は楽しかったですか？どんなことが心に残っているでしょうか？運動会、宿泊研修、社会科見学やメディア学習、プール学習も今年は梅雨明けが早かったので、たくさんすることができました。持田小学校が目指している“楽幸”にどれだけ近づいたことができたでしょう。廊下を走っている人を見つけたときみなさんはどうしますか？では、廊下を歩いている人を見つけたときはどうでしょう？トイレのスリッパや朝のあいさつでも同じことですね。ルールが守れていない人に注意したりやめてほしいと思う気持ちが湧いてきたりすることはよくあります。しかし、ルールを守っていたり、嬉しくなるようなかわりをしてくれたりする友達に「ありがとう」「すてきだね」と言えているでしょうか？

持田小学校は楽しくて幸せな楽幸をめざしていますが、嬉しくなる行いをしてくれた友達のことを、当たり前のことだと放っておいてはいませんか？当たり前のことを当たり前にするには、とてもすてきなことです。（略）

明日から長い夏休みが始まります。「ありがとう」「すてきだね」をお家でたくさん言ってみてください。そして、2学期になったら持田小学校中に「ありがとう」「すてきだね」がたくさん聞こえるようになると「すてき」だなと思います。

この1学期の間に、ありがとう、すてきだねと思える言動をたくさんしてくれたことも達です。

初めて自分から手を挙げて発表した。朝、起こされずに起きることができた。給食を残さず食べた。遅れた友達を待つてあげた、「できるよ、もう少し」と励ましてあげた。笑顔で楽しく話ができた、漢字計算会合格・・・

まだまだ知らないところですてきなことをしてくれたことがたくさんあります・・・そんなみなさんすべてが🌸でした

夏休みの生活について

学校からお配りしました「夏休みのしおり」をもとにお子さんと話し合い、安全で有意義な夏休みになりますように、ご家庭でもご指導よろしくお願いいたします。

■夏季休業中の学校への連絡・・・○平日（学校 21-3987 ※8:20～16:50）

■学校閉庁期間 8/12～15 の緊急連絡・・・○市教委（55-5423・55-5424 ※8:30～17:15）



◆◆◆◆ 8・9月の主な行事 ◆◆◆◆	9月 1日（月） 2学期始業式
8月24日（日） PTA 環境整備作業 7:30～9:00	9月19日（金） 6年生学年行事
8月24日（日） みんなで学ぶ人権事業研修会 10:00～11:30	9月30日（火） 前期通知票渡し

1学期のSWPBS(スクールワイド・ポジティブ行動支援)の取組例の紹介

【授業の中でのPBS】…望ましい行動とは学校生活のあらゆる場面のことを想定しています。

学習の中での望ましい行動と課題となる行動は何でしょう?よい姿勢で学習している⇨姿勢が崩れてうつぶせている。友達の発表をうなずきながら聞いている⇨友達が発表していてもよそ見をして聞いている。主体的に学習している⇨やらされている学習となっている。などなど様々な視点や価値観があるので、どんな学びの姿が「望ましい姿なのか」というところも含めて、研究中です。授業終了後に「今日の勉強は面白かったよね」とか「よくわかった」「もっとやりたかった」などの感想やつぶやきがでるような授業を目指していきたくて考えています。

【7月2日 1年生 算数】

「ひきざん」の学習をしました。こども達はブロックを操作しながら場面を説明していきます。教師は「できた行動に対して、即フィードバック」することによって(例:「ブロックを使って考えたんだね→とてもいいね」)深く考えていく行動を増やそうとするなどPBSの考え方を取り入れた授業展開を工夫していました。

説明をしていくうちに何とかみんなに分かりやすく説明しようとして「オスのチームが4でメスのチームが残り」という「**チーム**」という表現で説明してくれる子がいました。



【7月9日 2年生 国語】

気になることは、どこにある? 「動物園のかんばんとガイドブック」動物園にあるアフリカゾウの説明が書いてある看板とガイドブックの内容の同じところや違うところ、順序などの内容を読み取って伝え合うという学習です。こども達は、ゾウのアシの説明について、イメージを膨らませ「細かったら転んでしまうよね」とか「踏みつぶされるよ」「ゴジラみたい」など読み取ったことを伝えあっていました。ガイドブックには文章だけではなく絵からわかる情報もあります。足音がしない秘密として、クッションの役割をしている柔らかい部分があることに気づきます。そこでさかさ賞賛の言葉と共に近くにあった除菌シートの容器をゾウのアシにみため、タオルをかぶせて音を比べてみることをしました。意見を言った児童は満足そうであり、周りのこども達も「ほんとだぁ」「すご〜い」などのつぶやきが多くありました。



指導をしていただいた島根県教育センターの山崎先生からは、「教師や子ども同士の反応」について、「いいです」と「なるほど」どっちがいいかと言えば、こども達は「なるほど」がいいと言う。こどもは相手がどう感じたかを聞きたいという思いがある。その思いをかなえるためには「なるほど」が効果的と助言をいただきました。こども達の反応や先生のお話を聞いて「なるほど」と納得しました。今後もさらに教職員一同研鑽を深めていきたいと思っています。